

Heartful Day

北条高校人権委員会
平成29年1月18日
No. 107

『いじめ STOP 愛顔の子どもフォーラム』
に参加して

I いじめ STOP 愛顔の子どもフォーラム

私たち人権委員は、放送部、写真部の人たちと一緒に、12月17日に砥部町文化会館で行われた「いじめ STOP 愛顔の子どもフォーラム」に参加しました。今日のハートフルデーでは、川之江高校の生徒が作ったハンドブックの一部を紹介します。

II いじめが悪いてわかってるのに、なぜ起きてしまうの？

【 『川之江高校の生徒達の語り合い』より 】

- ★ どんな些細なことでも、些細なことから発展していくことがあると思う。
- ★ 「いじめ」と、「人をいじること」の違いの捉え方が、人によって違うと思う。いじられるのを楽しんでいる人もいて、いじられキャラみたいな感じで。でも、実はその子にとっては嫌だったり、辛かったり。
- ★ 「いじめ」と「いじり」の境界線が分かりにくいと思う。最初は面白半分ですてるんだけど、「面白いからこれやって」とかって言われてるのが、そばから見てたら強要しているように見えた。面白がってる人たちにとっては、ただの遊びみたいな感じだったけど、されてる本人がどう思ったかは分からない。
- ★ いじめが怖いのは、いじめる側は何年か経ったら忘れるかもしれないけど、やられた側はそれで人生が変わったりする。そういうところが怖い。
- ★ 中学校の時、いじめを止められなかった自分がいて…。その時は、『止めたら自分も巻き込まれてトラブルが多くなるなあ。』と思っていた。でもいじめのせいで不登校になった友達がいる、（止められなかったことを）後悔してる。
- ★ いじめを無くすためには、人と人との違いを認め合うってことが大事だと思う。



III いじめをなくすための、わたしの一步

裏面で、「いじめをなくすための、わたしの一步」を紹介します。あなたにできる一步を、考えてみましょう。

次回の放送は、2月15日（水）です。お楽しみに…★

いじめをなくす

行動する前に、しようとして
していることを一度
頭で考える。

笑顔で
周りを
明るくしたい。

周りを
見る、知る、
伝える。

人を第一印象だけで
決めず、どんどんその人に
ついて探っていく、偏見を
なくすのを、
私は大切にしています。

人を外見だけで見ない。
その人ともっと関わりを
持って理解する。

仲良しだけと遊んだり
話したりするだけでなく
ふだん話さない人とも会話する。

自分の意見をあから
さまに主張せず、相手
の意見も受け入れる。

ためのわたしの一歩。

いじめは、ちよとしたきつかけでおきてしまう。
それなら、ちよとした行動で、いじめのない毎日が
つくれるんじゃないかな。
みんなの一歩をあつめてみました。

一人一人が自分の
意見を言えて、
個性を認め合うこと
ができる環境づくり
また、一人一人が自分の
意見を言い、個性を
発揮すること。

相手の気持ちを
考える。
言われて、こらえて
嫌なことはしない。

相手のことも
もっとよく考える。

比喩のいいところ
をいばい見つけて
まず自分が
皆を大好きになり。

グループでの会話の
時に押し押された
雰囲気をつくらない
配慮をする。

大事なことは、
ネットじゃなくて、
会って、顔を見て、
話をする。

身近な人に
あいさつを、
困ったらまず
誰かに相談を。